

パワフルなネットワークで チャレンジャー企業を応援します。

Power of Network

時代の流れにしなやかに反応し、新たな潮流を創造したい。

世界に誇れる、新しい技術や製品を開発したい。

「みやぎ工業会」は、そんな企業を応援する団体です。

パワーの源は、12種を超える業種と350社におよぶネットワーク。

そして、6つのソリューション事業推進委員会の活動と、支える会員企業の熱意です。

産・学・官連携の強力なネットワークで、企業の飛躍と発展を力強くバックアップします。

概要

2013年9月現在

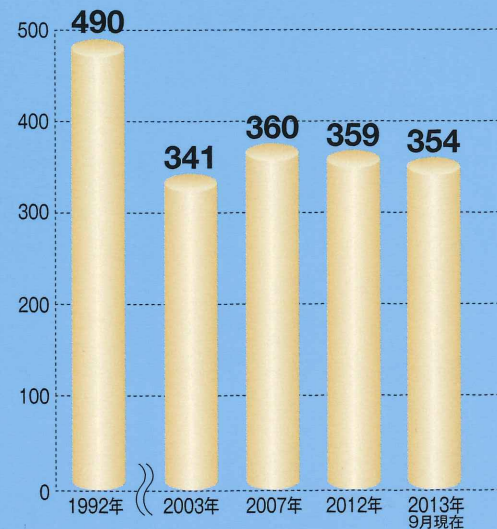
- 名 称 — 一般社団法人 みやぎ工業会
(平成25年4月より)
- 所 在 地 — 仙台市泉区明通2丁目2番地
宮城県産業技術総合センター内
- 設 立 — 1986年 9月 [昭和61年]
- 会 員 数 — 420社 [正会員:354社]
[賛助・特別会員:66社]

事業推進体系



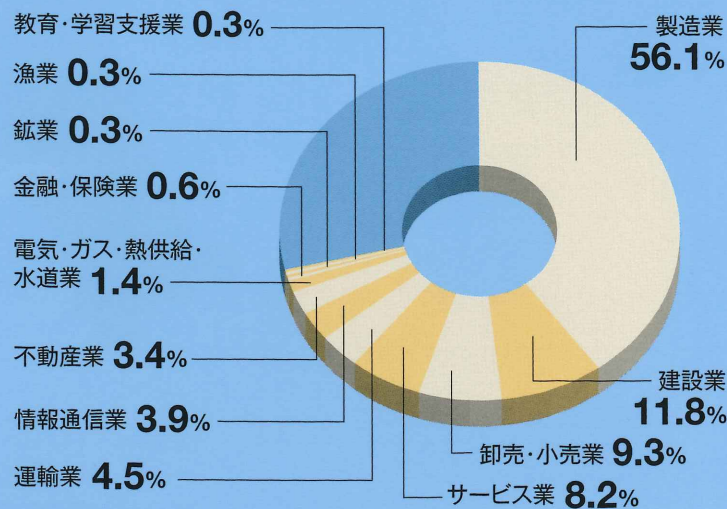
会員数

正会員数の推移



会員状況 業種比率

● 大科目: 10業種 ● 中科目: 53業種 計405社



新たな潮流を創造したい。 世界に誇れる、新しい技術や製品を開発したい。

「みやぎ工業会」は、そんな企業の夢を実現するために応援する団体です。

事業紹介

みやぎ工業会は県内産業の活性化と発展に奇与することを目指しています。
時代の流れを的確に捉え社会的課題の解決に果敢に挑戦し、
会員企業の業績向上に向けて各種事業を通して応援します。

産学連携の推進

みやぎ工業会では設立以来、多くの大学の研究者や研究機関と情報交換や技術提供の場を設け、積極的に活動してきました。



宮城発の製品開発と事業展開

宮城発の新製品を募集し、「みやぎ優れモノ」として認定し、宮城発の製品や技術を全国に向け紹介するとともに、ビジネスチャンス、創造の場を提供し、事業成果拡大への支援を行っています。

経営者・管理者の意識啓発と経営基盤の強化

時代の変化を把握し、的確な対応と旺盛な企業マインドの発揮を目的としたセミナー、シンポジウムを実施し、意識の啓発、経営基盤の強化に役立てています。

情報提供

「みやぎ工業会レポート」を定期的に発行し、会員との絆を深めています。ホームページでは会員企業案内やイベント情報を掲載し、最新情報を提供しています。

異業種交流

会員の業種内容は、多岐にわたり、50を超える分類となります。また、地域間交流をすすめるとともに、東北への進出企業との連携を構築すべく積極的なアプローチを力強くバックアップしています。

行政へ提言・関連団体との連携

工業振興に対する国や県の施策立案に協力し、行政幹部との産官懇談会を開催し、行政に対して工業会の声を反映させています。また、関係諸団体とともに各種イベントを実施するなど、連携して人材の養成と地域の振興を図っています。



産学官交流

このような産学連携のきっかけとすべく始まった産学官交流大会は、各大学・高専・研究機関および行政関係者、みやぎの産業を担う多くの方々が一室に集い、毎回300名を超える参加者を得て開催しています。

技術動向の調査・研究

毎年、県内外の研究機関や企業を視察し、研鑽の場を提供し続けています。



歩 み

昭和61年(1986)みやぎ工業会が発足して以来、「自らの力で21世紀を拓く」を基本理念とし、業種、企業規模、地域にとらわれないことを活動の原則として会員自らのパワーと熱意で産業の発展に取り組んできました。
県内の産・学・官の総力ネットワークを集結し、新産業創造の挑戦を続けています。

- 昭和61年 9月 設立総会 会長 古後 正徳
事務所は、宮城県工業技術センター(長町)内に開設
- 12月 宮城県より法人認可(社団法人)
- 昭和62年 1月 第1回 産学官新春交流大会
(現在も継続中)
- 6月 第2回 産学官交流大会
(平成23年の大震災を機に、会員のみ大会に)
- 昭和63年 10月 みやぎ工業祭 '88
- 平成 元年 10月 みやぎ工業フェスティバル '89
(~平成8年まで継続 平成6年は中止)
- 平成 6年 6月 会長 松村 富廣

- 平成 9年 12月 みやぎものづくりまるごとフェスティバル
(~平成11年まで継続)
- 平成11年 4月 事務所を宮城県産業技術総合センター内に移転
(泉区明通)内に移転
- 平成12年 10月 みやぎいいモノテクノフェア2000
(~平成18年まで継続)
- 平成16年 6月 会長 羽田 祐一
- 平成18年 10月 20周年記念式典
- 平成21年 6月 会長 川田 正興
- 平成24年 6月 会長 竹淵 裕樹
- 平成25年 4月 一般社団法人へ移行